

【皆川家文書目録】

凡 例

目録の配列は、重要美術品認定時の整理に従った。表記は、①通番・子番号、②年月日・名称・△充所▽、③料紙寸法（縦×横、紙数）の順に掲げた。寸法の単位はセンチメートルである。なお充所部分は上所以下脇付迄を採録した。

〔第一巻〕 卷子装、表紙 金茶地蓮唐草文金欄表紙、見返 金砂子銀切箔野毛砂子散、八双 真鍮、紐 紫平打紐、軸 牙印可軸、外題なし

- | | | | | | |
|---|---|------------------------|-----------------------|------------|-----|
| 1 | 一 | 文治三年十二月一日 | 源頼朝袖判下文 | (三二・四×四九・一 | 一紙) |
| 2 | 二 | 正治二年十一月九日 | 源頼家袖判下文 | (三〇・七×三九・九 | 一紙) |
| 3 | 三 | 建武三年正月廿二日 | 足利直義軍勢催促状△長沼判官殿▽ | (三〇・七×四四・四 | 一紙) |
| 4 | 四 | 貞治二年八月廿五日 | 足利義詮感状△長沼淡路五郎殿▽ | (三〇・三×四〇・九 | 一紙) |
| 5 | 五 | 應永三年十二月五日 | 鎌倉公方足利氏満御判御教書△長沼淡路守殿▽ | (二九・七×四三・〇 | 一紙) |
| 6 | 六 | 元中 ^丙 十一月廿八日 | 鎌倉公方足利基氏御判御教書 | (二七・五×三八・一 | 一紙) |
| 7 | 七 | 承久三年六月廿五日 | 関東下知状 | (三二・八×四七・三 | 一紙) |
| 8 | 八 | 承久三年七月廿日 | 関東下知状 | (三二・八×五一・五 | 一紙) |
| 9 | 九 | 永仁五年十一月十日 | 関東御教書△中沼四郎左衛門入道殿▽ | (三二・八×五一・四 | 一紙) |

〔第二卷〕 卷子装、表紙欠、軸 竹

10 一 観應三年閏二月廿四日 足利義詮軍勢催促状△長沼新左衛門尉殿▽ (小切紙) (一六・〇×一一・八 一紙)

○右端破損箇所繕い部分に黒円印(印文未詳)一顆あり

軸付紙に「頼朝卿御書巻ノ頼家御書巻ノ尊氏御書巻ノ義詮御書式ノ各御判形有」の墨書あり

〔第三卷〕 体裁等、第一巻に同じ

11 一 (應永廿四年) 三月一日 足利持氏書状△長沼淡路入道殿▽ (二九・八×四五・二 一紙)

12 二 應永廿二年三月廿九日 鎌倉公方足利持氏軍勢催促状△長沼淡路入道殿▽ (二九・七×四八・〇 一紙)

13 三 應永廿三年十月五日 鎌倉公方足利持氏充行状△長沼淡路入道殿▽ (二九・三×四一・四 一紙)

14 四 應永廿五年五月十日 鎌倉公方足利持氏御判御教書△長沼淡路入道殿▽ (三〇・六×四三・六 一紙)

15 五 應永廿五年七月廿一日 鎌倉公方足利持氏御判御教書△長沼淡路入道殿▽ (三二・八×四五・二 一紙)

16 六 應永廿七年十二月九日 鎌倉公方足利持氏御判御教書△長沼淡路入道殿▽ (三二・八×五三・〇 一紙)

17 七 (年未詳) 九月十八日 足利持氏書状△長沼淡路入道殿▽ (三二・五×四三・九 一紙)

18 八 應永卅年十一月十六日 鎌倉公方足利持氏軍勢催促状△長沼淡路入道殿▽ (三二・八×四七・二 一紙)

19 九 應永卅年十二月十四日 鎌倉公方足利持氏感状△長沼淡路入道殿▽ (三〇・一×四三・三 一紙)

〔第四卷〕 卷子装、表紙 浅葱地雲龍文緞子表紙、見返 金切箔散、八双 竹、紐 紫平打紐、軸 紫檀印可軸、外題なし

20 一 (應永廿五年) 七月十二日 足利持氏書状△結城弾正少弼入道殿▽ (三〇・三×四六・七 一紙)

- 21 二 (年未詳) 九月九日 足利持氏書状ハ宇都宮彈正少弼殿V (三三・〇×三七・四 一紙)
- 22 三 (年未詳) 五月十九日 足利持氏書状ハ結城彈正少弼入道殿V (三三・三×四四・三 一紙)
- 23 四 應永廿五年七月廿九日 鎌倉公方足利持氏御判御教書ハ結城彈正少弼入道殿V (三六・〇×四八・三 一紙)
- 24 五 (應永廿五年) 十月廿九日 足利持氏書状ハ結城彈正少弼入道殿V (三四・五×四八・六 一紙)

〔第五卷〕 体裁等、第四卷に同じ。

- 25 一 (年未詳) 十一月九日 沙弥禅貴(結城基光) 書状ハ謹上 海老名尾張守殿V (二八・四×三九・〇 一紙)
- 26 二 (年未詳) 十一月九日 沙弥禅貴(結城基光) 書状ハ謹上 二階堂信濃守殿V (二八・三×三八・八 一紙)
- 27 三 (年未詳) 八月廿五日 沙弥禅貴(結城基光) 書状 (二五・二×二九・四 一紙)
- 28 四 應永廿四年四月四日 結城禅貴(結城基光) 遵行状ハ水谷出羽入道殿V (二八・四×三八・一 一紙)
- 29 五 (天正九年) 十月廿九日 織田信長朱印状ハ瀧川左近殿V (三一・八×四九・八 一紙)

〔第六卷〕 体裁等、第四卷に同じ。

- 30 一 應永廿四年二月廿七日 関東管領上杉憲基施行状ハ結城彈正少弼入道殿V (三二・七×四一・一 一紙)
- 31 二 (年未詳) 六月七日 関東管領上杉憲実副状ハ謹上 長沼淡路入道殿V (室町前期) (二八・七×四六・三 一紙)
- 32 三 (年未詳) 六月十五日 まの書状 (室町前期) (二八・二×三九・六 一紙)
- 33 四 (年未詳) 十二月廿二日 上杉憲実書状ハ雜賀遠江守殿V (室町前期) (二九・三×四一・九 一紙)

- 34 五 (應永廿九年) 七月十日 上杉定頼書狀△謹上 長沼入道殿▽ (三〇・二×三九・九 一紙)
- 35 六 (應永廿九年) 七月十日 上杉定頼書狀△謹上 那波上総介殿▽ (三〇・三×三九・九 一紙)
- 36 七 應永十五年十月十四日 沙弥長基(上杉憲定)書狀△進上 御奉行所▽ (三〇・〇×四一・一 一紙)
- 37 八 應永廿四年四月十四日 沙弥聖棟打渡狀 (三〇・二×四一・一 一紙)
- 38 九 應永卅年十一月 日 某軍忠狀(前欠) (二八・二×三九・五 一紙)
- 39 一〇 享德六年四月廿九日 萬光寺建彭等連署仏事錢請取狀△長沼次郎殿▽ (二七・三×三六・三 一紙)
- 40 一一 (年未詳) 十二月六日 上杉憲藤書狀△謹上 伊豆守殿▽ (三二・三×四四・九 一紙)
- 〔第七卷〕 体裁等、第四卷に同じ。
- 41 一 應永廿四年三月廿七日 將軍(足利義持)家御教書△長沼淡路入道殿▽(小切紙) (一七・七×二〇・一 一紙)
- 42 二 (年未詳) 十二月廿一日 足利持氏書狀△長沼淡路入道殿▽ (小切紙)(室町前期) (一一・五×一三・七 一紙)
- 43 三 應永廿三年十二月廿四日 鎌倉公方足利持氏軍勢催促狀△長沼淡路入道殿▽ (小切紙) (一五・五×一一・八 一紙)
- 44 四 觀應二年十月廿九日 足利尊氏軍勢催促狀△長沼新左衛門尉殿▽ (小切紙) (一六・四×一一・六 一紙)
- 45 五 貞治二年九月六日 鎌倉公方足利基氏御判御教書△長沼淡路守殿▽ (小切紙) (一六・四×一五・五 一紙)
- 46 六 (年未詳) 十二月廿五日 沙弥道守(斯波義種)副狀△謹上 長沼淡路入道殿▽ (小切紙) (一七・七×一八・三 一紙)

- 47 七 (年未詳) 十月十六日 築田政助書状△謹上 長沼入道殿御宿所▽ (横切紙) (一七・八×四〇・二 一紙)
- 48 八 (年未詳) 十月廿八日 足利政氏書状△長沼民部太輔殿▽ (横切紙) (二七・四×三九・四 一紙)
- 49 九 (年未詳) 正月廿五日 足利氏滿書状△長沼淡路入道殿▽ (横切紙) (二四・五×四〇・九 一紙)
- 50 一〇 (年未詳) 十二月十九日 足利持氏書状△長沼淡路入道殿▽ (横切紙) (二六・五×四五・八 一紙)
- 51 一一 (年未詳) 十月十六日 足利政氏一字并官途状△長沼民部太輔殿▽ (横切紙) (二八・五×三九・六 一紙)
- 52 一 ~~一~~ (年未詳) 十月廿八日 足利政氏書状△長沼五郎入道殿▽ (横切紙) (一六・四×四一・〇 一紙)

〔未表具〕

- 53 一 (天正九年) 十月廿九日 織田信長朱印状△長沼山城守殿▽ (鳥ノ子紙、横切紙) (本紙) (二八・二×五二・一 一紙)

○懸紙捻封ウハ書「長沼山城守殿 信長」

- 54 二 (天正九年) 十月廿六日 羽柴秀吉書状案△堀久太御宿所▽ (折紙) (江戸前期) (二九・五×四五・五 一紙)

- 55 三 (年月日未詳) 堀秀政覚書案 (江戸前期) (二八・三×四六・〇 一紙)

○端裏書「久大より参候覚之案文」

- 56 四 (天正九年) 十月廿九日 堀秀政書状△皆川山城守殿御返報▽ (鳥ノ子紙、横切紙) (本紙) (一六・五×五二・三 一紙)

○懸紙捻封ウハ書「皆川山城守殿御返報 堀久太郎秀政」

- (懸紙) (二六・六×一二・七 一紙)

57 五 (天正十年九) 四月五日 瀧川一益書状ハ長沼山城守殿御返報V(鳥ノ子紙、横切紙)

○懸紙捻封ウハ書「長沼山城守殿御返報 一益」

(本紙) (一八・五×四七・六 一紙)
(懸紙) (二九・四×一三・〇 一紙)

58 六 (天正十年九) 四月五日 瀧川一益書状ハ玄三 廻章V(鳥ノ子紙、横切紙)

○懸紙捻封ウハ書「玄三 廻章 瀧川左近一益」

(本紙) (一八・五×五一・五 一紙)
(懸紙) (二九・五×一三・〇 一紙)

59 七 (天正九年) 十一月十二日 徳川家康書状案ハ蝮川山城守殿V(鳥ノ子紙、横切紙)(江戸前期)

○懸紙捻封ウハ書「蝮川山城守殿 家康」

(本紙) (一三・〇×四一・七 一紙)
(懸紙) (二五・七×一〇・七 一紙)

60 八 (年未詳) 九月廿二日 徳川秀忠御内書ハ皆川山城守とのへV(折紙)(江戸前期)(三六・八×五三・七 一紙)

61 九 (年未詳) 七月廿日 本多忠勝書状ハ皆河山城守殿人々御中V(横切紙)(江戸前期)(一四・四×四二・七 一紙)

附属品 桐台差箱 (縦三九・一 横五四・一 高さ九・四) 一合

皆川家系図 (袋綴冊子本)(二七・五×一九・九 二七紙) 一冊

○表紙に「^{寄合}當家系図」皆川左京」の墨書あり。末に天明五年より明治十二年にいたる追記あり